

馬主だより

第93号

平成30年6月22日

発行 (一社)ばんえい競馬
馬主協会事務局

☆開幕2ヵ月 発売好調続く ネット 15.81%増 本場・直営場外前年上回る！！

▼今年度も開幕から早2ヵ月が経過しました。6月18日まで28日間の発売額は、前年同期比13.9%増の42億2,227万円。一日平均発売額は1億5,079万円と好調に推移しています。本場、直営場外も前年度を上回る実績で善戦。加えてネット発売も好調、特に南関東のSPAT4が前年より33.62%増で売上げ全体を押し上げる要因となっています。▼これら売上げの収益が施設整備や報償費等にも反映され、ようやく少しずつ環境改善に繋がっているのも事実です。その影響もあり、現在、帯広競馬場には、600頭弱の競走馬や競走馬を目指す新馬が入きゆうしており、出走している競走馬の実頭数は、昨年度よりも50頭程度増えています。▼その一方で、生産頭数や馬主の減少、更にはきゆう務員不足、調教師、騎手の高齢化など、いずれも一つひとつ真摯に向き合い解決していかなければならない課題です。▼その中でも急務なのは、きゆう務員不足の問題でしょう。競走馬としての馴致、調教には人手が欠かせません。その人材確保の強化が今求められています。即ち、社会保障制度の充実、労働条件の緩和、人材の育成など、人手不足が深刻化する前に対策を講じなければなりません。▼現状では認められていませんが、「外国人労働者」に頼らざる得ない状況はもう目前に迫っているのかもしれない。▼今だからこそ関係者が一つになり出来る事から実行する決断を！！

平成30年度 ばんえい競馬 発売成績 (累計)

開催28日間

帯広市ばんえい振興室資料提供
平成30年6月18日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成30年度			平成29年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
帯広競馬場	28	235,354,500	214,988,700	28	232,294,800	109.47	101.32	
直営場外	旭川北彩都	28	115,279,400	95,426,100	28	110,638,900	120.80	104.19
	ミトスポット北見	28	80,205,900	60,530,800	28	67,069,700	132.50	119.59
	ハロンス岩見沢	28	35,434,000	36,565,000	28	40,854,900	96.91	86.73
	ハロンス釧路	28	16,755,200	14,787,300	28	16,448,500	113.31	101.86
	ハロンス名寄	28	19,846,900	15,022,300	28	16,794,200	132.12	118.18
	アプスポット網走	28	13,862,000	10,586,700	28	11,679,000	130.94	118.69
	琴似駅前	28	24,989,100	22,516,200	28	25,115,700	110.98	99.50
	イルムふかがわ	28	15,646,600	13,920,500	28	15,433,300	112.40	101.38
電話投票	オッズパーク	28	1,100,285,200	864,811,700	28	997,245,100	127.23	110.33
	OP(七重勝)	28	2,432,400	18,200,000	28	2,866,600	61.09	84.85
	OP(五重勝)	28	8,685,600		28	10,928,500		79.48
	競馬モール	28	1,044,826,700	922,204,100	28	996,214,800	113.30	104.88
	SPAT4	28	1,263,984,000	937,122,900	28	945,926,300	134.88	133.62
広域場間場外	—	244,686,200	220,648,900	—	217,495,400	110.89	112.50	
場外・電設計	—	3,986,919,200	3,232,342,500	—	3,474,710,900	123.34	114.74	
合 計	28	4,222,273,700	3,447,331,200	28	3,707,005,700	122.48	113.90	
1日平均		150,795,489	123,118,971		132,393,061	122.48	113.90	

平成30年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第5回6日目まで28日間)

平成29年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第5回6日目まで28日間)

会議等の様子

○ 平成 30 年度第 1 回執行役員会を開催！！

～ 補助事業等実績報告 第 23 回通常総会の準備等検討 ～

平成 30 年 4 月 21 日(土)当協会事務局会議室に於いて、平成 30 年度第 1 回執行役員会を開催しました。

役員会では、競走馬弔慰金の査定について、平成 29 年度競走馬診療業務サポート事業に係る実績報告書、収支決算書により補助金等の実績を報告。その他、当日、午後から開催した「平成 30 年度第 1 回理事会」に先立ち、第 23 回通常総会における当日の役割分担や出席者記念品、また、懇親会の参集範囲等、執行役員で意見調整を図りました。

【第 1 回執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 平成 29 年度帯広市補助金等実績報告について
- (3) 平成 30 年度第 1 回理事会の議案について
- (4) その他
 - ① 総会における代理人による議決権行使
 - ② 第 23 回通常総会準備等

【馬弔慰金支給対象馬】 1頭 1,200,000円

内 訳 (単位:円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
ニュータカラコマ	10	小森 唯永	業務中	1,200,000

注：当該馬は、旧規程に基づき馬弔慰金給付額を決定する。

○ 平成 30 年度第 1 回理事会開催！！

～ 平成 29 年度の決算等総会の議事に付すべき事項等を審議 ～

平成 30 年度第 1 回理事会は、平成 30 年 4 月 21 日(土)当協会事務局会議室で開催。

平成 29 年度事業報告及び決算の承認について、また、第 23 回通常総会の開催日時、場所及び議事に付すべき事項について審議、それぞれ原案のとおり承認ご決定をいただきました。

更に協議案では、平成 30 年度日本馬事協会売却希望馬等の精液検査の協力体制について協議、今年度は、精液検査に係る家畜人工授精師の技術者不足に対応するため、新たな協力支援体制を確立する旨を説明、これに基づき準備を進めることで承認されました。これら協力体制については、今年度はこれまでの方法を一部変更して暫定的に実施し、その事を踏まえて、来年度以降の体制は、関係者で改めて協議を重ね、最善の方法を目指すこととなります。

【第 1 回理事会議事】

- | | | |
|------|---------|---------------------------------------|
| 日程 1 | 報告第 1 号 | 競走馬弔慰金の給付額決定について |
| | 報告第 2 号 | 平成 29 年度正会員資格喪失者について
正会員の入会申込みについて |

	報告第3号	各ブロック懇談会における意見、要望等について
日程2	議案第1号	平成29年度事業報告及び決算の承認について
日程3	議案第2号	第23回通常総会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定について
日程4	協議案第1号	平成30年度種雄馬購買に係る精液検査の実施について
日程5	その他	①平成30年度優良2歳馬導入促進対策事業運用基準

【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
H30-1	遠藤 由佳	北16-22	道東ブロック
H30-2	川口 晋司	北17-19	道南ブロック

○ 当協会第23回通常総会開催！！

～ 平成29年度の決算承認 任期満了に伴う役員選任を行う ～

平成30年5月18日(金)帯広市内のホテルにおきまして、当協会第23回通常総会(定時社員総会)を開催。正会員数290名中、開会后204名(書面表決者163名を含む。)が出席。

議事の結果、平成29年度事業報告、貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認に関する件については、議案書に基づき事務局から説明。質疑の後、採決のため承認を求めたところ満場異議なく全会一致でこれを承認可決しました。

また、役員選任では、規程に基づき選考委員会に推薦を求めることになり、別室において選考の結果、選考委員長から推薦者名簿を公表、その者につき賛否を諮ったところ満場異議なく全会一致で承認可決。これによって理事13名、監事2名が新たな役員として選任されました。なお、被選任者は席上にてその就任を全員承諾しました。

注：総会に於ける決議案件や新役員の氏名等については、同封いたしました別紙「第23回通常総会決議等ご通知」及び「任期満了に伴う役員の改選について(お知らせ)」をご参照ください。

○ 平成30年度第2回理事会開催！！

～ 新たに代表理事と業務執行理事を選定する ～

平成30年5月27日(日)当協会事務局会議室におきまして、第23回通常総会后、初めて新理事、監事による理事会を開催しました。

議事は、先般、第23回通常総会で新たに選任された理事13名の中から、理事会の決議によって代表理事会長1名、副会長1名、専務理事1名及び常務理事2名を選定することについて審議。結果、大阪代表理事会長、長津副会長、広瀬常務理事はそれぞれ再任となり、松浦理事は常務理事から専務理事へ、干場理事が理事から常務理事へ新たに就任されました。注1

その他、協議案として、馬主登録の推進について協議。新たにパンフレットを作成して、ばんえい競馬を取り巻く環境や実情を良く説明したうえで、地元経済界を含め若い人や地元企業等へ幅広く馬主を勧めるべく、具体的PR活動をすることが決定されました。

また、役員選任の方法について、理事者の人数、ブロックの有り方についても併せて検討、どのような方法が時代に即したより良い適正な方法なのか、改めて今後1年間をかけて慎重に審議をすることとなった。

注1：新役員（代表理事、業務執行理事）の氏名、役職等については、同封いたしました別紙「任期満了に伴う役員の変更について（お知らせ）」をご参照ください。

【第2回理事会議事】

日程1	議案第1号	代表理事会長の選定について
日程2	議案第2号	副会長、専務理事及び常務理事の選定について
日程3	報告第1号	正会員の入会申込み
日程4	協議案第1号	馬主登録の推進について
日程5	其の他	① JRAジョッキーDAYイベント実施 ② 祭典ばんば協賛の副賞について ③ 通常総会その他、意見等について

【正会員新規入会者】

会員番号	入会者氏名	馬主登録番号	ブロック名
H30-3	嶋田 孝紀	北18-4	道北ブロック

情報・ご案内

○ 楽天競馬「ばんえい十勝応援企画」で新たな生産者支援策！！

～ “将来の馬主確保へ” 生産牧場ツアーや4頭目 PR 馬導入 ～

帯広市と馬券購入サイト「楽天競馬」を運営する(株)競馬モール(東京)は、連携が6年目となる今年度、新たな生産者支援策として、長期的に生産者の経営を支援する上で馬主の確保は急務であり、将来の馬主候補の確保に向けて、ばん馬の生産牧場やレース観戦ツアーを企画。生産者と実際に交流することで、生産に興味を持ってもらい、将来的な馬主に繋げるのが狙いです。

また、重賞競走や主な特別競走の優勝馬生産者を表彰する「生産者賞」は、今年度からは市の単独事業に切り替えて継続。賞金総額を510万円(昨年度240万円)に拡大する。この他、現在帯広市の嘱託職員として、ばんえい競馬のPR役を務める「リッキー号」「ミルクキー号」「キング号」に次ぐ4頭目の馬を本年夏ごろまでに導入する計画もあるようです。

○ “ばんえいアワード2017” 最優秀馬オレノココロ号！！

～ ベストジョッキー鈴木騎手 ベストトレーナー槻館調教師に ～

帯広市と楽天競馬が共同で実施し、今年が第2回目となる“ばんえいアワード2017”は、シーズンを通じて活躍した競走馬、馬主、生産者、騎手、調教師を表彰する制度です。2018年4月8日に選定委員会を開催し、各部門の受賞馬・受賞者が決定されました。

今年度の「ベストホース」には、2年連続オレノココロ号(牡8歳 槻館 重人調教師)、「ベストジョッキー」も2年連続で鈴木 恵介騎手が選ばれました。

今回から新たに設けた「最優秀生産者賞」には、フジダイビクトリーやミスタカシマなどを送りだした本寺 政則さん(本別町)が選ばれました。また、「ベストレーナー」は、昨年度の重賞11勝を挙げた槻館 重人調教師。また、「ばんえい記念」レース中に事故で急逝されたニュータカラコマ号には、これまでばんえい十勝への功績を称え、特別賞を授与することも決定しました！！誠におめでとうございます。

■ ばんえいアワード2017 受賞馬・受賞者一覧

部門	表彰項目	賞金	選定方式	受賞馬／受賞者
馬	ベストホース (帯広市長賞)	500,000 円	ファン投票	オレノココロ
	最優秀 2 歳馬	100,000 円	選定委員会	ミスタカシマ
	最優秀 3 歳馬	100,000 円	選定委員会	メジロゴーリキ
	最優秀 4 歳馬	100,000 円	選定委員会	マルミゴウカイ
	特別賞	—	選定委員会	ニュータカラコマ
騎手	ベストジョッキー (楽天競馬賞)	500,000 円	ファン投票	鈴木 恵介騎手
	リーディング表彰 (日刊スポーツ賞)	—	成績	1位 鈴木 恵介 2位 阿部 武臣 3位 工藤 篤 4位 藤本 匠 5位 藤野 俊一
生産者	最優秀生産者	300,000 円	選定委員会	本寺 政則氏
調教師	ベストレーナー (楽天競馬賞)	300,000 円	選定委員会	槻館 重人調教師

○ **ばんえい競馬振興連絡協議会 !!**

～ 来年都内で大規模なばんえい競馬のPRイベントを計画 ～

ばんえい競馬の関係者でつくる「ばんえい競馬振興連絡協議会」(川田 章博ばん馬と共に地域振興をはかる会会長)が、本年度、東京都内でばんえい競馬をPRする大規模イベントの開催を計画。時期は、来年2月から3月上旬をめどに、場所や内容など詳細については、今夏までに実行委員会を立ち上げ検討して行くが、現在のところ「模擬レースやレース映像を大画面で体験する」など、ばんえい競馬ファンばかりではなく、不特定多数の人達に「ばんえい競馬」の魅力を発信するのが狙い。

川田会長は「ばんえい競馬の更なる発展のためには、人口が多い首都圏での馬文化やばんえい競馬を十勝観光とともにPRする必要がある。是非、成功させたい」と意気込みを語った。

○ **新たなばん馬の観光スポット「ばんえい牧場十勝」4月オープン!!**

～ 帯広空港近くにばん馬の生産、育成牧場一般見学受け入れ開始～

帯広空港近くに、新しくばん馬が見学できる観光スポットがオープンしました。ばん馬の生産・育成を行う「ばんえい牧場十勝」(帯広空港から僅か800m)です。4月からは一般の受け入れを開始、「ばん馬」のいる風景を間近に見ることができます。

同牧場ではたくさんの「ばん馬」達が飼育されております。春は出産のシーズンなので、親子の姿も見る事ができます。

入園料は有料で中学生以上 700 円、小学生 200 円。また、入場無料のログハウスがあり、カレーや豚丼、ソフトクリームなどを提供。その横には、ポニーや羊、ヤギ、ブタと触れ合える「ふれあいコーナー」もあり、ご家族、お子様連れでもお楽しみいただけます。帯広競馬場以外では、こちらの牧場で“ばん馬”を見るのも一見です。

レース情報

○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
4 月 29 日	第 12 回ばんえい十勝 オッズパーク杯	コウシュハウンカイ	秋田 忍	松井 浩文
6 月 17 日	第 49 回 旭川記念	オレノココロ	大森 勝廣	槻館 重人

優勝おめでとうございます！！

◆ 第 12 回ばんえい十勝オッズパーク杯（4 歳以上選抜）

4 月 29 日（祝・日）は今シーズン初の重賞・ばんえい十勝オッズパーク杯（4 歳以上オープン）が行われ、単勝 1 番人気のコウシュハウンカイが優勝。昨年度に続くこのレース連覇を果たすとともに、重賞 8 勝目を挙げました。

ホクショウユウキが競走除外となり 8 頭立て。昨年の覇者でスピード勝負にも対応できるコウシュハウンカイが、単勝 1 倍台の圧倒的な 1 番人気に推されました。高いレベルで安定しているセンゴクエースが 2 番人気で続き、ばんえい記念馬オレノココロが 3 番人気。これらの重賞常連馬に、勢いのあるマルミゴウカイやソウケンボーイがどう対峙するかが焦点となりました。

馬場水分は 0.9%と重め。それでも 700 キロ台前半の荷物なら各馬ともお手のもので、軽快に第 1 障害を突破します。ペースを握ったのは 1 番人気のコウシュハウンカイ。後続も遅れず追走していましたが、第 2 障害手前で 1 頭だけ 2 馬身ほど抜けた状態となり、最大の勝負どころを迎えました。

真っ先に動いたのは、そのコウシュハウンカイ。一気に天板まで登り切り、砂煙を上げながら最後の平坦路に向かいます。多少遅れて仕掛けたなかでは、サクラリュウがスムーズな登坂を見せて 2 番手。やや離れてマルミゴウカイとセンゴクエースが続き、フジダイビクトリーとオレノココロもこの圏内でクリアしました。

先頭のコウシュハウンカイは、グングンと後続を突き放してセーフティーリードを築きます。むしろ追っていたサクラリュウが苦しくなり、残り 20 メートル付近ではマルミゴウカイとセンゴクエースがこれをおかす勢いに。その争いを尻目に、コウシュハウンカイは楽な手応えのまま独走。結局 7 秒 6 差をつけて、先頭で荷物を運び切りました。注目の 2 着争いは、ゴール手前で鋭く伸びたセンゴクエースが制し、これに食い下がったマルミゴウカイが 3 着となりました。

連覇を果たしてスピード上位を示したコウシュハウンカイですが、昨季は帯広記念も制しており、いまや現役最強のオールラウンダーと言って過言ではないでしょう。スタートから主

導権を握り続けて勝った内容も良く、今シーズンも引き続き活躍が期待できそうです。

昨年のこのレースでは6着だったセンゴクエースが、年齢をひとつ重ねて2着に前進。これで昨年11月のオータムカップから12戦続けて3着以内を確保しています。よりいっそうの成長が望める6歳馬だけに、さらなる飛躍を期待したいと思います。

◆ 第49回旭川記念（3歳以上オープン）

6月17日(日)は重賞・旭川記念(3歳以上オープン)が行われ、単勝1番人気のオレノココロが優勝。昨年に続く連覇、そして18度目の重賞制覇を果たしました。

サクラリュウが出走を取り消して8頭立て。昨年のばんえい記念馬で、2連勝中のオレノココロが1番人気。ばんえい十勝オッズパーク杯を制したコウシュハウンカイが2.7倍で続き、高いレベルで安定したレースを見せているセンゴクエースが4.1倍。以下は離れたオッズとなり、三つどもえの戦前予想となりました。

馬場水分1.3%とはいえ、重量設定は700キロ台。並み居るオープン馬だけにスタートから軽快に歩を進め、一気に中間点を突破します。それでも極端に遅れる馬はおらず、差のない展開で第2障害を迎えました。

ひと呼吸置いて仕掛けたのはフジダイビクトリー、コウシュハウンカイ、トレジャーハンターの3頭。特にコウシュハウンカイが力強い登坂を見せ、多少苦しみながらも先頭で天板に脚をかけます。それを見て各馬も登坂を開始しましたが、なかでも抜群の登坂を見せたのがオレノココロ。ひと腰で登り切り、先に障害を下りたコウシュハウンカイを追いかけます。3番手で並んで下りたのはフジダイビクトリーとセンゴクエースで、後続はやや置かれ加減。この4頭による争いに絞られました。

先頭に行くコウシュハウンカイは、持ち前の粘りを発揮しながら力強くゴールを目指します。ところが、それをあざ笑うかのような末脚を発揮したのがオレノココロ。残り20メートル付近で早くもコウシュハウンカイに並びかけます。ただ、“並びかけた”のも一瞬。次元の違う脚で難なく先頭に躍り出ると、ライバルをさらに突き放し、4秒8差をつけてゴールを果たしました。障害を下りてから続いた3着争いはセンゴクエースに軍配。人気上位3頭での決着となりました。

障害さえスムーズに突破できれば、やはりオレノココロの独壇場。強敵コウシュハウンカイが先頭で障害を突破する展開のなか、じっくりとためた鞍上の判断が好結果につながった印象です。この重量でも力を発揮できたのも大きく、今後も現役最強馬として実力を見せてくれるに違いありません。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。